

学校評価の結果と今後の改善について

栃木市立部屋小学校

保護者の皆様には、11月末に実施いたしました学校評価において、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

学校経営の努力点に関する8つの設問について、教職員・児童・保護者の回答を比較分析し、成果や課題、今後の改善策をまとめました。

成果が見られたこと

以下の5項目では、「とてもそう思う」「そう思う」との肯定的な回答の割合が高い傾向が見られました。



水害についての校外学習



タブレットの活用

設問2 学習意欲を高める評価

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	80	94	94

設問3 ICT機器の積極的な活用

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	92	88	90

設問4 児童・保護者からの相談対応

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	100	81	99

設問5 人権意識を高める指導

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	100	88	96

設問7 防災・安全教育の取組

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	100	99	94

【設問2】については、昨年度の評価より児童の評価が高くなった項目です。教職員が一人一人の努力を認め、賞賛や励ましの言葉かけを行い、意欲を高める

ことに努めてきた成果と思われます。教職員の評価がやや低めなのは、もっといろいろな方法で適切な評価を行い、児童を認め意欲を高めたいとの思いがあるためです。今後も情報共有し、児童の意欲を高める評価を研修していきます。

【設問3】については、さくら連絡網の健康チェックやメール配信、タブレットの持ち帰りによる家庭での活用や欠席時のオンライン授業など、昨年度よりICT機器の積極的な活用が進み、昨年度より高い評価を得たと考えられます。

【設問4】については、教職員、保護者から高い評価を得ました。児童、保護者からの相談には、迅速に丁寧に対応してきた成果ととらえています。児童にはそれぞれが相談しやすい体制（教育相談、相談カード、保健室でのやりとりなど）で対応していますが、自分から相談できない児童もいることを意識して、今後も一人一人の様子を全職員で見守っていきます。

【設問5】については、人権週間や人権だよりの発行、日常的に個性を認め、安心して生活できる学級の雰囲気があることから、評価が高くなったと考えられます。

【設問7】については、交通安全、防災等の安全教育の工夫や地域人材を活用した防災学習の充実によって、児童の意識が高まっていることが分かりました。

成果が見られたことについては、今後も保護者の皆様と連携しながら、子どもたちの姿を通して、さらなる充実を図ってまいります。

〈裏面もご覧ください〉

課題が見られたこと

以下の3項目は、すぐに改善すべき課題と捉えています。

設問1 異学年交流の効果的な実施

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	92	86	99

設問6 主体的な体力づくりの推進

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	83	87	86

設問8 学校からの情報発信

肯定的な回答の割合 (%)	教職員	児童	保護者
	93	84	94



持久走記録会



なかよし班の活動

【設問1】については、なかよし班活動やブロックでの体育の授業など、異学年交流の機会があり、下学年児童、保護者から高い評価を得ました。一方、高学年の評価が昨年同様、下学年より低い評価となっています。

【設問6】については、教職員、保護者の評価が低くなった項目です。コロナ禍において、実施できなかった体育的行事などが原因と考えられます。

【設問8】については、3者とも評価が下がった項目です。保護者や児童が知りたい必要な情報や教職員が認めて励ましたい情報をどのように伝えていくとよいのかが課題といえます。

その他のご意見から

○児童の意見【部屋小をもっとよい学校にするためのアイデア】

- ・学校全体で遊ぶ時間を増やす。・1～6年生がかかわる時間を増やす。
- ・お互いの思ったことを伝え合って仲良くする。
- ・今の楽しい部屋小がいい。・今でもすごくいい学校。

○保護者の意見

- ・いつも丁寧で温かい支援をしていただいて大変感謝しております。
- ・部屋小学校でよかったなと日々感じています。
- ・とても細かいことまで伝えてくれるので、安心しています。
- ・コロナの対策だとは理解していますが、運動会の徒競走、リレーなどなくなってしまったこと、持久走大会の参観もなくなってしまったことが残念に思います。



昼休みの児童の交流

課題の改善に取り組みます！

評価結果やご意見をもとに、課題が見られる3点について、改善に取り組みます。

○児童の達成感・信頼を高める「振り返り」を行います！

異学年交流において、上学年児童は下学年児童にとっても親切に接しています。それぞれのやさしさや思いやりに気付かせ、賞賛し合えるような「振り返り」を行うことで、達成感を高め、互いに信頼し合えるようにします。

○児童が主体的に取り組む体力作りを工夫します！

体育の授業において、児童が個々のめあてを設定し、それぞれの伸びを実感できるよう、学習カードや評価方法をさらに工夫します。体育的行事については、実施可能なものを協議し、説明します。

○必要な情報を工夫して発信します！

学校での児童の様子について、これまで同様、各種たよりや学校HP（学校ニュースコーナー）で情報提供していきます。また、タブレットも活用し、必要な情報、子どもたちががんばっている姿、活躍する姿を保護者の皆様へお知らせできるよう工夫します。